

この度、第 122 回あしぎん景況調査の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

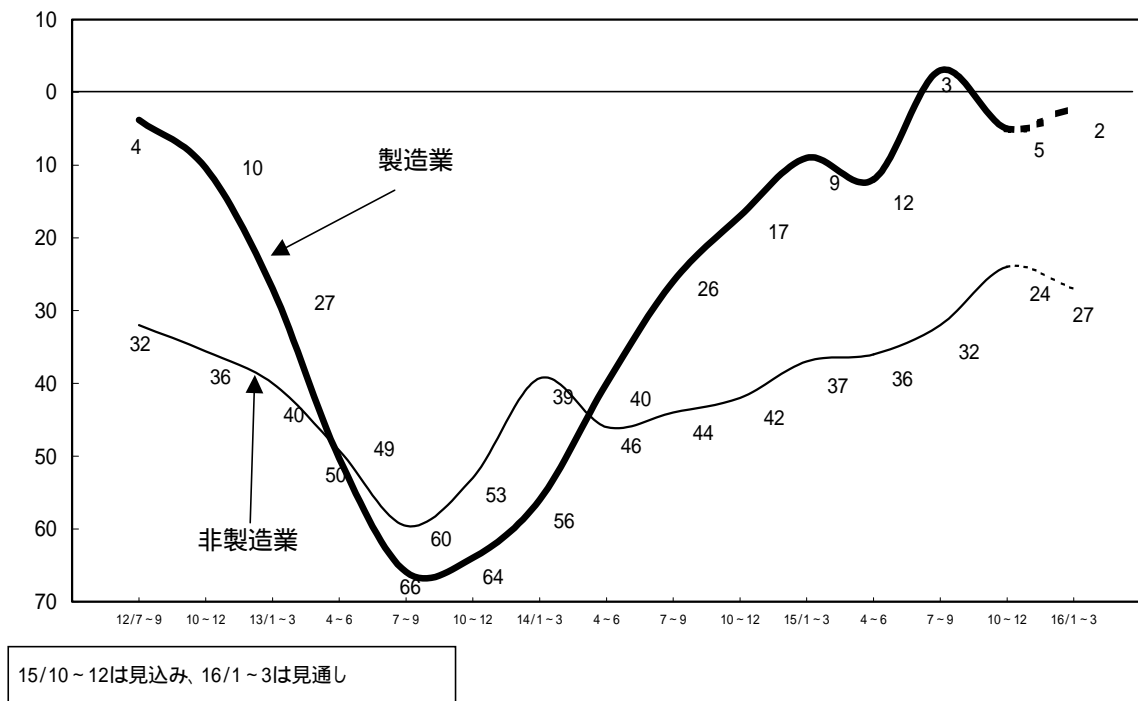
1. 今回のポイント

企業の景況感は、製造業、非製造業ともに緩やかな回復傾向にある。

今期（15 年 10～12 月期）の業況判断 D.I. 値は、製造業が 5、非製造業が 24 となった。前期（15 年 7～9 月期）に比べ、製造業は 8 ポイント悪化したものの、非製造業は 8 ポイント改善した。

来期（16 年 1～3 月期）は、製造業が 2 と今期に比べ 3 ポイント改善するものの、非製造業は 27 と今期に比べ 3 ポイント悪化する見通しである。

業況判断 D.I. 値



2. 概要

(1) 製造業

業況

業況判断D.I.値は、今期（15年10～12月期）5と前期実績を8ポイント下回った。業種別にみると、飲・食料品、精密機械など3業種が改善したものの、木材・木製品、輸送用機械など8業種が悪化した。

来期（16年1～3月期）は今期見込みを3ポイント上回る見通しである。

経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは3と前期実績を4ポイント下回った。業種別にみると、化学品、精密機械など5業種で改善したものの、窯業・土石、電機機械など8業種で悪化した。

水準D.I.値の今期見込みは13と前期実績と同ポイントとなった。

設備投資

実施企業割合の今期見込みは71%と前期実績を1ポイント上回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは40と前期実績を15ポイント上回った。来期は実施企業割合、投資額D.I.値ともに今期見込みを下回る見通しである。

雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは8と前期実績を2ポイント上回った。一方、適正水準比D.I.値の今期見込みは3と前期実績を1ポイント下回った。

(2) 非製造業

業況

業況判断D.I.値は、今期（15年10～12月期）24と前期実績を8ポイント上回った。業種別にみると、建設が悪化したものの、サービス、小売、運輸、卸売は改善した。

来期（16年1～3月期）は27とやや悪化する見通しである。

経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは17と前期実績を10ポイント上回った。業種別にみると、建設を除きすべての業種で前期実績を上回った。

水準D.I.値の今期見込みは13と前期実績を13ポイント上回った。

設備投資

実施企業割合の今期見込みは51%と前期実績を2ポイント下回った。一方、投資額D.I.値の今期見込みは39と前期実績を2ポイント上回った。来期は実施企業割合、投資額D.I.値ともに今期見込みを下回る見通しである。

雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは19と前期実績を1ポイント上回った。一方、適正水準比D.I.値の今期見込みは3と前期実績を6ポイント下回った。

3. 調査結果

(1) 製造業

今期実績見込み(15年10～12月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	5	前期比	-8	ポイント	
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	3	前期比	-4	ポイント	
	(水準D.I.値)	13	前期比	0	ポイント	
・設備投資	(実施企業割合)	71 %	前期比	+	1	ポイント
	(投資額D.I.値)	40	前期比	+	15	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	8	前期比	+	2	ポイント
	(適正水準D.I.値)	3	前期比	-1	ポイント	

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」、「需要減退」の順となっている

来期見通し(16年1～3月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	2	前期比	+	3	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	0	前期比	+	3	ポイント
	(水準D.I.値)	19	前期比	+	6	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	64 %	前期比		-7	ポイント
	(投資額D.I.値)	25	前期比		-15	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	10	前期比		-2	ポイント
	(適正水準D.I.値)	6	前期比	+	3	ポイント

(2) 非製造業

今期実績見込み(15年10～12月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	24	前期比	+	8	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	17	前期比	+	10	ポイント
	(水準D.I.値)	13	前期比	+	13	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	51 %	前期比		-2	ポイント
	(投資額D.I.値)	39	前期比	+	2	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	19	前期比	+	1	ポイント
	(適正水準D.I.値)	3	前期比		-6	ポイント

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(16年1～3月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	27	前期比	-3	ポイント	
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	20	前期比	-3	ポイント	
	(水準D.I.値)	4	前期比	-9	ポイント	
・設備投資	(実施企業割合)	41 %	前期比	-10	ポイント	
	(投資額D.I.値)	29	前期比	-10	ポイント	
・雇用	(増減D.I.値)	20	前期比	-1	ポイント	
	(適正水準D.I.値)	4	前期比	+	7	ポイント